

平成 3 0 年第 5 回鹿角市議会定例会 一般質問

□質問順位及び質問所要時間

6月11日（月）午前10時～	1	児	玉	政	明	議員	（60分）
	2	吉	村	ア	イ	議員	（30分）
	3	黒	澤	一	夫	議員	（30分）
	4	戸	田	芳	孝	議員	（30分）
	5	栗	山	尚	記	議員	（30分）

□質問時間割当表

10:00	11:00	11:10	11:40	13:00	13:30	13:40	14:10	14:20	14:50
6月11日 （月）	児玉政明 （60分）	休憩 10 分間	吉村アイ （30分）	休 憩	黒澤一夫 （30分）	休憩 10 分間	戸田芳孝 （30分）	休憩 10 分間	栗山尚記 （30分）

平成30年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位		1	質問者	児玉 政明	質問所要時間	60 分	No.1
質 問 事 項					質 問 要 旨		
1	平成30年度の重要施策について				① 第6次総合計画の達成に向け後期基本計画の中間年となる今年度、特に課題解決に取り組む重要施策について伺う。		
2	教育環境の変化と登下校の安全対策について				① 4月24日に秋田県教育庁に提出された、鹿角小坂地区高等学校統合に関することについての報告書について、本市の所感を伺う。 ② 統合校の設置学科等については高校と県教育委員会で実務者協議が行われているが、設置場所については県教育委員会と市、町等との協議と伺っている。本市としてどのような方向性で協議に臨まれるのか、具体的な設置場所の案はお持ちなのか、また、今後の協議スケジュールについて伺う。		
	(1) 高等学校の統合について						
	(2) 地域内の教育環境の変化について						
	(3) プログラミング教育について						
					① 6～8年後に高校が統合した場合、現在の小学生（31年、33年に統合する小学校児童）は小中高の教育課程において、2度の統合といった教育環境の変化に立ち会うことになるが、児童や保護者、地域に対して今後の教育環境の変化の周知と、変化に対応するための支援やサポートができないか伺う。		
					① 2020年の新学習指導要領においてプログラミング教育の必修化が進められるが、小中学校での授業内容や教育のねらいはどのように計画しているか、具体的な取り組み方法を伺う。 ② 全ての学校で同レベルの授業を受けるためには、教育人材の確保や設備面での環境整備が課題になると思うが、プログラミング教育を指導する人材確保の取り組みと、小中学校の教育用のP C、タブレットの配備状況と計画、無線LANの整備状況と計画について伺う。		

平成30年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	1	質問者	児玉 政明	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
3	(4) 不審者からの安全対策について			① 教育委員会や各小中学校において登校や下校（集団や個人等）の状況や、自転車通学、スクールバスと自宅の間の通学状況をきちんと把握し通学路の安全対策を行っているか伺う。 ② 近年の不審者の目撃情報の件数と内容、また、目撃情報があった場合に地域が一体となり注意見守りするためにも、市のメールによる配信ができないか伺う。	
	子ども会活動について			① 少子化の影響により年々会員が減少している子ども会活動について、地区子ども会、単位子ども会の活動実態の把握と、以前から変化している点や活動の課題、また、子ども会活動の意義について伺う。	
	4 スキーと駅伝のまちの推進について				
	(1) 十和田八幡平駅伝競走全国大会について			① 真夏の暑い時期の開催で選手にとっては過酷な大会であると思うが、本大会をどのようなセールスポイントで各実業団や大学に出場に向けた勧誘にあたっているか、また、現在の参加チームの状況を伺う。	
	(2) 全国規模のスキー大会について			① 全国高等学校スキー大会に向けての準備や鹿角独自の運営の仕方、選手団へのおもてなしについてはどのように計画して進めているのか伺う。 ② インターハイ表彰式に優勝者、優勝校の校歌を流し称えることができないか伺う。 ③ 各全国規模のスキー大会（全中、インハイ、インカレ、国体）毎の開催費用（助成金や市の持ち出し金）と参加者数、また、役員の協力体制と地域への経済波及効果の特徴を伺う。	

平成30年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	1	質問者	児玉 政明	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
(3) バイアスロン競技の施設整備について				④ 連続開催される全国規模のスキー大会に向け、コースの支障木伐採の件を含め今後の施設環境の整備計画を伺う。	
5 道の駅おおゆについて				① クロスカントリーコースの整っている花輪スキー場に射撃場を整備し、バイアスロン競技の大会の開催や全国大会、国際大会の誘致ができないか伺う。	
				① オープンから1カ月を経過したが、来客者から寄せられた意見と当局で感じた効果と課題、また、計画に対する客数の状況について伺う。	
				② 他にはない特徴のある道の駅おおゆにさらなる取り組みとして、広い芝生の公園を利用したドッグランの施設整備や、施設周辺にかづの牛を飼育し誘客につなげることはできないか伺う。	

平成30年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	2	質問者	吉村 アイ	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	男女共同参画の推進について (1) 今年度の市女性職員の管理・監督職への登用率について		① 昨年は女性職員の登用率が過去最高（24.1%）であったが、今年度はそれを上回っているか伺う。		
	(2) ハラスメントについて		① 官僚によるセクハラ、スポーツ界でのパワハラなど話題に事欠かない今日、パワハラ被害の相談を受けた企業は 45%との調査もある。市職員のハラスメントの啓発活動はどのように行っているか伺う。		
2	花輪ばやしの屋台の商店街移転について (1) 祭典委員会との協議について		① 昨年の一般質問において、祭典委員会と協議を重ねながら段階を踏んで早めに進めたいとの答弁であったが、今年度の計画を伺う。		
3	秋田県文化功労者表彰について (1) 功労者の推薦、選定について		① 市からの県文化功労者推薦・選定はどこの部門で行っているのか伺う。 ② 平成 20 年～29 年の 10 年間に県文化功労者の本市受賞者は学芸部門 1 名と保健衛生部門 1 名で、他市と比べて少ない。市から県への推薦・選定基準について伺う。		
	(2) 鹿角市芸術文化協会と市の担当職員との関わりについて		① 鹿角市の芸術文化の振興に尽力いただいている協会と市の担当職員との関わりを深めることにより、文化功労者表彰者の推薦がスムーズに進むと思うがいかがか。		

平成30年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	2	質問者	吉村 アイ	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
4 日本遺産について (1) 菅江真澄の日本遺産申請について			① 日本遺産の累計は 67 件となり、2020 年まで 100 件の目標に近づいてきている。菅江真澄の関連市町村と連携して、日本遺産認定を目指す考えはないか伺う。		

平成30年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	3	質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 観光産業の「にぎわい」づくりの取り組みについて (1) 八幡平温泉郷への誘客と活性化について			① 温泉郷にあった澄川・赤川温泉の廃温泉後、観光関連施設の休止・廃止等が続いているが、活性化を図るため、どのような取り組みをしているか伺う。 ② 温泉郷入口部にある廃業ホテルがそのままの状態、美しい景観とはいえないと思う。温泉郷の美化についてどのような対処を行っているか伺う。 ③ 県の観光施設、八幡平ガーデンハイツが休止中で、私企業の温泉も同様である。頑張っている温泉やホテルもあり、この地域の全体的な振興への取り組みやイベント等の企画が必要と思うが、このことについて伺う。 ④ 八幡平ふれあいやすらぎセンターと同じ指定管理者が運営する中滝ふるさと学舎や、関係団体（山岳会など）との連携は十分に行われているか伺う。（賑わいを持たせる活動やイベントの実施など）		
(2) 大湯温泉地域の活性化について			① 自然の恵みである自噴温泉がたくさんある。歴史あるストーンサークル等もあり、広い振興「にぎわいづくり」が期待できる。これまでと今後の取り組みについて伺う。 ② 「道の駅おおゆ」の地域への「なじみ」を広めるよう、取り組みが必要であると思うが、どのように考えているか伺う。		
2 市民の健康づくり、生きがいづくりについて			① 安心して日常生活を送るためには、市民の健康増進が大切である。会社や企業の健康診断・人間ドックの実施は十分実施されているか伺う。		

平成30年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	3	質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
3 農業振興への取り組みについて			② 市の実施する特定健診、人間ドックで要精密検査となった方へのアフターフォローは十分に行われているか伺う。 ③ 本市では健康寿命県内一を目指すとのことだが、これからの取り組みについて伺う。 ① 米の転作制度が廃止され、自主作付となった。本年の作付状況（実態）と生産された米の販売について、対応が十分できているか伺う。 ② 農家、農業人口の減少で水田や畑地の非農地化、不作付地化が多くなると懸念される。当市の重要な産業基盤である農地を末永く守るため、農地の貸し借り制度を充実させていくことが重要であるとする。農地保全のための市の取り組みについて伺う。 ③ 特産品「淡雪こまち」生産拡大について、どのくらいの作付面積、販売高を目標として生産指導を行っていくか伺う。		

平成30年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	4	質問者	戸田 芳孝	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	人口減少問題について (1) 目標人口の見通しについて		① 本市の過去5年間における人口推移（1年ごとの減少数と減少率）について伺う。さらに、平成32年度・人口3万人台を確保するにあたり、現在の施策がどのように生かされ、その実現は可能なのか伺う。		
2	地方創生について (1) 本市の「CCRC構想」について		① 本市の「CCRC構想」について、いろいろ分析され、ある一定の方向性を見いだしているようだが、事業化は考えているか。また、実施するとすれば、どのような形で進めて、いつ頃になるのか伺う。		
3	自殺対策について (1) 自殺の実態について		① 本市の過去5年間における年間自殺者数と自殺死亡率、並びにその原因・動機について伺う。		
	(2) 自殺予防の取り組みについて		① 本市の自殺防止に向けた取り組みについて、どのような対策を講じているのか。また、残された遺族へのケアも必要と考えるが、「自死遺族」への支援について、どのようなことが行われているのかあわせて伺う。		
	(3) 「自殺対策基本法」への対応について		① 本市における「自殺対策計画」は、どの程度進んでいるのか。これまでの経過と、今後のスケジュールについて伺う。		
4	「成年後見制度」の充実について		① 本市の「成年後見制度」について、弁護士などの専門職後見人に代わる「市民後見人」の養成、並びに利用促進を図るための後見センター（仮称）を設立するなど、制度の充実が必要と考えるが、市長の見解を伺う。		

平成30年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	5	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1 東山スポーツレクリエーションエリアの整備拡充について					
(1) スキー場の整備拡充について				① 来年開催のインターハイに続いて、翌年以降も各種全国大会が予定されているが、継続して安定した大会運営のための施設や設備等のしっかりとした整備拡充が必要と思うが、課題と計画について伺う。また、役員の負担軽減のための設備機器整備や導入も不可欠と思うが、これらの課題と計画についても伺う。	
(2) 陸上競技場サブグラウンド整備について				① 冬期のスキー大会以外にもスポーツを通じた交流人口拡大が大いに期待できる施設として、サブグラウンドの人工芝化整備は、本年も開催されるバルサスクールや陸上をはじめとした各種大会やレクリエーションイベントのさらなる充実した盛り上がりや、広がりが期待できると思うが、エリアのブラッシュアップを望む市民の声に応えて頂けないか伺う。	
(3) 屋内プールの整備について				① 市が意欲的に行っているスポーツ合宿のさらなる誘致や、健康長寿の拡大や市民の健康維持のためには、市内には無くなってしまった屋内プールの整備が効果絶大と考える。これを東山スポーツレクリエーションエリアに配置整備できれば、幅広い相乗効果が期待でき、鹿角市の大きな活力を生み出す施設になると思うが、多くの市民も期待をしている屋内プール整備ができないか伺う。	
(4) ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設指定について				① 多くの国内トップ選手を輩出しているコンバインドをはじめとした、ノルディック競技のナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設の指定を受けている施設は他にも無く、指定を受けることによる施設整備の財源確保や人材確保が大いに期待できるが、国内トップクラスの鹿角の優位性を万全なものに仕上げるためにも、絶対的に誘致すべき戦略と思うが、これについて伺う。	

平成30年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	5	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
2 子供の安全確保について (1) 鹿角市の現状と取り組みについて (2) 安全確保対策としての監視カメラの整備や全市民による見守り体制について				① 全国的に、子供達の命まで奪う凶悪な事件が後を絶たないが、市内における危険な発生事例や子供達の安全確保に向けた取り組みの現状を伺う。 ① 国内外先進地では、監視カメラの設置による犯罪発生件数の減少は、確実に実証されている。市内での設置も積極的に行うべきと思うが計画について伺う。また、通学下校時に見回ってほしい時間帯や場所を地図により公開し、市民全体で子供達の見守りをする等の活動ができれば、共働の精神の元、安全なまちづくりにつなげる事ができると思うが、こういった取り組みができないか伺う。	